

ANNUAL CALENDAR

■休館日

月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日及び特別展・くらしのうつりかわり展開催期間中等を除く)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 ※7月3日(火)、4日(水)は館内メンテナンスのため休館

2018	4	↑ 春季特別展 ↓	● リカちゃん展
			4.7(土) ▶ 5.20(日)
6	↑ 企画展 ↓	● 郷土作家シリーズ 佐々木猛展(仮)	
		6.2(土) ▶ 7.1(日)	
8	↑ 夏季特別展 ↓	● 特撮のDNA展	
		7.14(土) ▶ 9.2(日)	
10	↑ 企画展 ↓	● 明石藩の世界VI	
		- 藩領を歩き交う人とモノー(仮) 9.15(土) ▶ 10.21(日)	
11	↑ 企画展 ↓	● 発掘された明石の歴史展	
		- 明石の近世II - 11.3(土・祝) ▶ 12.9(日)	
2019	1	↑ 新春特別展 ↓	● 竹久夢二展
			1.4(金) ▶ 2.3(日)
2	↑ 企画展 ↓	● くらしのうつりかわり展	
		2.10(日) ▶ 3.24(日)	

年間カレンダー

INFORMATION

■開館時間

9:30～18:30 (入館は18:00まで)

■観覧料

大人200円/大学・高校生150円/中学生以下無料
 ※特別展開催時は料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください
 ※20名以上の団体に2割引、65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示の方(介護が必要な場合は介護者も)は半額
 ※シニアいきいきパスポートの提示で無料

■レストラン

海鮮フレンチ まるせいゆ(文化博物館敷地内)
 TEL: 078-917-9797
 定休日: 月曜日(特別展の期間中は除く/祝日の場合は火曜日に振替)
 ※詳しくはお問い合わせください

■ギャラリー・大会議室利用

美術展・書道展・写真展などに利用できるギャラリー、講演会・研修会などに利用できる大会議室の貸館を行っています。
 ※料金や使用手続きについては、ホームページをご覧ください

■ギャラリー

区分	展示延長	床面積	天井高	パネル高
ギャラリー	半室	71㎡	3.05m	2.6m
	全室	142㎡		

※ギャラリーはA・Bの二分割使用ができます

■大会議室

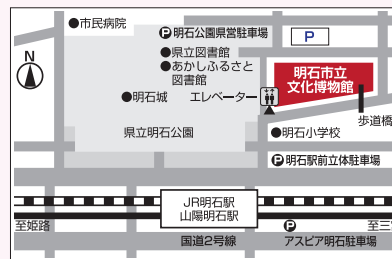
収容定員 約100名

■アクセス

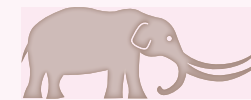
電車: JR神戸線、山陽電鉄「明石」駅下車
 県立明石公園のお堀東側を北上、徒歩5分
 自動車: 第二神明大蔵谷出口より南西へ10分、
 第二神明伊川谷出口より(東行きのみ)南へ10分
 1台1時間につき100円(ただし、1時間未満の端数は1時間とします)

■駐車場

駐車台数: 32台
 ※駐車台数が限られるため、公共交通機関、又は近隣の有料駐車場(地図参照)をご利用ください
 ※マイクロバス等のご来館は、事前にお問い合わせください



インフォメーション



Exhibition Schedule 2018年度 展覧会スケジュール

2018.4 - 2019.3

明石市立文化博物館

明石市立文化博物館

(指定管理者: 小学館集英社プロダクション・鹿島建物共同事業体)
 〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号
 TEL: 078-918-5400 FAX: 078-918-5409
<http://www.akashibunpaku.com/>



当館は明石駅からほど近く、明石海峡を望む高台に位置しています。明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して八つのテーマで紹介する常設展示のほか、年3回の特別展と年4回の企画展を開催しています。また、ボランティアによる十二単・鎧の着付体験やさそり織体験、エコバック作り等のワークショップも行っています。

2018年度 展覧会スケジュール

2018 4.7 ^{sat.} 土 ▶ 5.20 ^{sun.} 日 会期中無休

リカちゃん展

昭和42(1967)年に誕生した着せ替え人形「リカちゃん」は、昨年度の平成29(2017)年に誕生50周年を迎えました。いつの時代も女の子たちの憧れを体現してきたリカちゃん。50年の間に4代にわたってモデルチェンジをし、現在のリカちゃんは4代目として、30年にわたり愛されています。本展のテーマは「Licca meets Licca」。三世代にわたって親しまれるリカちゃんの歩みをたどり、時代の鏡としての



© TOMY

のドールやハウスを通して、日本のファッションや生活様式、文化の変遷を展覧いたします。いろいろな時代にタイムスリップしながら、それぞれの時代の憧れが詰まったリカちゃんに出会う中で、きっとあなたの「わたしのリカちゃん」を見つけられるはず。どうぞご家族でお越しください。

2018 6.2 ^{sat.} 土 ▶ 7.1 ^{sun.} 日 月曜休館

郷土作家シリーズ 佐々木猛展(仮)

今年の郷土作家シリーズは、画家・陶芸家の佐々木猛(1897-1979)の作品を紹介します。佐々木猛は、昭和32(1957)年に明石で魚住窯を築き、亡くなるまで明石の地で制作を続けました。関西各地で教鞭をとりながら、陶器や絵画の制作にのめり込み、ユーモラスでどこか懐かしい気持ちにさせる作品を残しています。本展では、絵画・陶器などを展示し、佐々木猛の一生とその作家としての業績を紹介します。昨年度の平成29(2017)年には生誕120年を迎えましたが、今尚躍動を感じさせる作品をどうぞお楽しみください。



佐々木猛(木蓮観音)

1 春季特別展

2 企画展

2018 7.14 ^{sat.} 土 ▶ 9.2 ^{sun.} 日 会期中無休

特撮のDNA展

日本が世界に誇る「特撮」(特殊撮影技術)。現在はCGを駆使したものが主流になりつつありますが、それまではミニチュアや映像トリックを用いた作品が主流でした。そのような特撮作品に登場するヒーローや怪獣、乗り物、兵器などの造形作品を間近で見られる展覧会が、2018年夏の明石にやってきます。

画面の中で暴れまわる怪獣たちは、実はいくつもの過程を経て生み出されています。特撮映像のスタッフたちは現実世界には起こりえない事象を描き、存在しない生き物を作り出すにあたって、その細部にまでこだわり、命を吹き込んでいきます。本来は目にするのができない特撮映像の裏側や、そこで腕をふるう匠たちの仕事にご注目ください。本特別展を通して、今日まで連なる日本の特撮の歴史と、その特撮にかけた特技監督や造形師ら歴代の特撮スタッフの情熱を感じていただければ幸いです。



ゴジラ頭部
『ゴジラ vs ビオランテ』(1989)
TM&©TOHO CO., LTD.

2018 9.15 ^{sat.} 土 ▶ 10.21 ^{sun.} 日 月曜休館、但し9月17日、24日、10月8日は開館

明石藩の世界Ⅵ -藩領を行き交う人とモノ-(仮)

元和3(1617)年の小笠原忠政の入封によって生まれた明石藩は、西国街道をおさえ明石海峡をのぞむ場所に位置していました。本展では、西国街道や明石海峡を行き交う人・モノ・情報にまつわる歴史資料や絵画を一堂に集め、交通の要衝として発展した明石のすがたをひもときます。江戸時代の明石の地で花開いた歴史・文化をご堪能ください。



三代目歌川豊国
『明石ノ浦景』(部分)

2018 11.3 ^{sat.} 土・祝 ▶ 12.9 ^{sun.} 日 月曜休館

発掘された明石の歴史展 -明石の近世Ⅱ-

今年で26回目になる「発掘された明石の歴史展」は、昨年の明石城築城時の姿を取り上げた「明石の近世」に続き、江戸時代後半期の姿を紹介します。天和2(1682)年に越前大野から松平直明が明石城に入封して以降、幕末までこの越前松平家が代々藩主を務めました。この時期の遺物は瓦や陶磁器をはじめとして、武家屋敷跡や町屋跡から数多く見つかっています。こうした出土品や残された城下の絵図等から、城下の変遷や人々の暮らしを紹介いたします。地中からよみがえった明石の歴史をご堪能ください。



葵紋軒丸瓦

3 夏季特別展

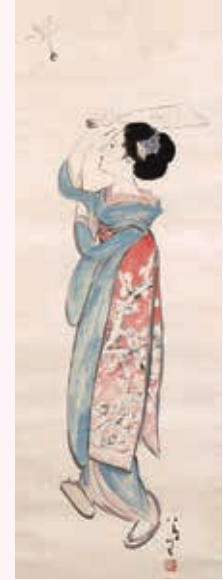
4 企画展

5 企画展

2019 1.4 ^{fri.} 金 ▶ 2.3 ^{sun.} 日 会期中無休

竹久夢二展

夢見るようなつづらな瞳、華奢でたおやかな姿、はかなげな雰囲気…このような特徴を持つ「夢二式美人」は、大正ロマンの時代を生きる女性たちの憧れでした。美人画の名手として知られる夢二ですが、その創作範囲は幅広く、図案や装飾などデザインの分野でも才能を発揮します。夢二はその洗練された様式によって、暮らしと密接に関わる身近な品々にも美を与え、生活を美しく彩ることを目指したデザイナーであり、近代日本における商業美術やグラフィック・デザインの分野のパイオニア的存在としての一面を持ち合わせているのです。本展では、夢二の仕事幅広く知ることができる、本や雑誌の装丁を含む版画や、優美な姿を描いた肉筆による美人画などを展示いたします。夢二が目指した美しい世界をどうぞお楽しみください。



竹久夢二(春の雪(部分)) 昭和初期、紙本着色、日光竹久夢二美術館所蔵

2019 2.10 ^{sun.} 日 ▶ 3.24 ^{sun.} 日 会期中無休

くらしのうつりかわり展

今では大きく様変わりした昭和時代のくらしの様子を、当時の道具や写真などで振り返ります。昔の道具や遊びの体験もでき、知る世代にはなつかしい、知らない世代はわくわくする、昭和レトロが学べる展覧会です。



ねんねこぼんてん

※本展覧会は小学校の社会科・総合学習の参考展として、毎年多くの学校観覧でご来館いただいています。見学申込みは9月頃に開始予定です。詳しくはお問い合わせください。

明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して、「明石のあけぼの」「大昔の明石」「畿内への入り口・明石」「明石の焼き物」「明石の農業」「明石の漁業」「明石城と城下町」「のびゆく明石」の八つのテーマで紹介しています。

6 新春特別展

7 企画展

常設展